

<4月第1例会報告>

『いけばな』のお話と実技
講師 鯖尻佳子氏 (宝塚クラブ)



藤井久子 ワイズ

今回の講師・鯖尻佳子氏は、宝塚クラブのメンバーで『池坊流』のいけばなを30余年学ばれていらっしゃいます。(先生でもあります)池坊流の生け方には、『立花』『生花』『自由花』等の種類があるそうです。

今回は、池坊の生け花の歴史や理念等をお話頂いた後、『立花』という生け方のお話と実技をしていただきました。

普通お花を生けるといって開いた花をいけますが、池坊では、つぼみは『未来』を、咲いている花は『現在』を、朽ちていく花も命の最後で美しいものにとらえ『過去』を表し、この3種類を生けます。歴史的には『立花』、祈りのお花と言われ、仏前に供えられたことから始まったそうです。江戸時代に『生花』が始まり、花の美しさを生けるのでわざが難しく、格調が高いと言われていました。決まり事があり、その通りに生ける必要があります。2・3月は水仙を、5・6月は、カキツバタのみを生けられるそうです。



『立花』を生けながらお話も伺いました。生けるまえに準備として花の茎に針金を通したり、針金を茎に添えテープを巻いたりします。各枝には役割の名前があり曲げる角度も決まっています。植物らしさを失わないように生けます。今回は、花器の中心に棒を立て、『真』としての百合をペンチで抑えながら少し傾け、倒れないように棒にくくりました。百合は立っている姿が美しいので少しだけ傾けました(植物らしさを失わないように入れるため)。次に『そえ』、『うけ』、『胴』、『前置き』、『うけ内』等役割に合わせた生け方をされ

ました。

鯖尻さんは、生きていらっしゃる間にもメンバーが、質問? つぶやき? していても丁寧に答えてくださいました。私達は普段、生けられたお花を見る機会がありますが、一つ一つ説明しながら生ける過程を見せて頂くという貴重な経験をさせていただきました。また、例会前日には、ご自宅で一度生けられた上で、花材・花器も持参して頂きました。



<事務例会議事録>

書記 野呂 隆



- 日時：2018年5月2日(水)
19:00~21:00
- 場所：西神戸YMCA
- 出席者：佐伯、杉本、達、田辺、丹家、長坂、中村、野呂、藤井(信)

1. 報告事項

(1) 次期役割担当について

クラブの次期役員・委員の中で、副会長と次々期会長が決まっていないので、田辺会長より早めに決定したい旨の表明があった。

- (2) 神戸ポートクラブ創立30周年記念例会 4/28(土) 13:30~ 神戸YMCA

参加者：杉本、佐伯、舘、田辺、長坂、中村、野呂

- ・第1部で神戸YMCA混声合唱団「くさぶえ」の合唱とフルートとハーブのデュオ
- ・第2部で30周年記念式典と懇親会が行われた。神戸ポートが支援する東日本大震災被災地の現状や、クラブ30周年の歩みも映像で紹介され、100名を超える来場者で盛大な記念例会であった。
- ・同時開催「きらりと輝くアート展」10:00～

(3) 2018-19 ロースターの申し込みを行った。

西日本区15冊、東日本区1冊

(4) 東日本大震災復興支援野球観戦

4/14 (土曜) 甲子園球場

YMCAの協賛試合「阪神×ヤクルト戦」にYMCAが東日本大震災、熊本地震の被災者を招待し、各クラブからも希望者が協賛金を寄付して観戦した。小雨模様の天候であったが球団より入場者に黄色い虎のかぶりもの「虎ヘッド」がプレゼントされ、満員の客席はにぎやかな応援になった。

(5) NPO法人ゆとり「ゆとり作業所」に寄付
同作業所の今元洋人氏が毎年恒例の寄付要請のため来訪され、クラブおよび各自が寄付を行った。

2. 協議事項

(1) 西日本区大会

- ・5/2(水曜)現在登録者総数711名
 - ・学園都市クラブの参加登録者 杉本、佐伯、田辺、中村、野呂、藤井(ひ)
その他に、当日の都合によって2名参加予定あり。
 - ・6/9(土曜)フロント班担当 藤井(ひ)、中村、野呂、佐伯
 - ・黒にんにく販売申込 4/22(日曜)にクラブファンドの販売申込みを行った。
 - ・エクスカージョン (DBC、IBC交流)
今大会でDBC締結式を行う岡山クラブより、懇親パーティー開催の要望があるので、大会実行委員会と調整して実施する。
 - ・メモリアルアワー使用原稿 今期に逝去された会員の方の原稿を用意した。
 - ・第17回実行委員会 5/21(土曜)18:30～
神戸YMCAにて
 - ・大会リハーサル 5/25(金曜)
1回目 15時～18時 神戸YMCAチャペル
2回目 18時～ 神戸YMCA308・309室(2)
- 今後の例会：

- ・5月17日(木曜)One Campの説明、越生寛子・神戸YMCA三宮リーダーより、今夏に実施の「One Camp 異なる境遇で生きる私たちが共に過ごすキャンプ」について説明と協力要請
- ・6月21日(木曜)「今期の評価と次期の計画」
- ・7月19日(木曜)キックオフ例会「私のワイズ人生」
卓話 三浦克文氏(岡山クラブ)
- ・8月(日時未定) 学園夏まつり
- ・9月20日(木曜)卓話 山本智子氏
新聞、テレビでも報じられている明石市の山本育海(いくみ)さん(18)の、筋肉が骨になる難病について、母親の智子氏の卓話
- ・10月20日(土曜) 西神戸YMCAワイワイまつり
- ・11月3日(土曜) チャリティラン
- ・11月(日時未定)卓話 関 啓子氏(三鷹高次脳機能障害研究所 所長)「伝えたい、脳卒中とその後遺症」
- ・2月(日時未定)フルート演奏会
演奏 河合久美子氏(京都ウエストクラブ)、吉田由美氏(大阪なかのしまクラブ)

3. YMCAの報告事項

- ・神戸YMCA132周年記念日礼拝 5/8(火曜)18:30～神戸YMCA
- ・18年度神戸YMCAボランティアリーダー委嘱式 5/13(日曜)16:15～神戸YMCA

4. 今後の西日本区・六甲部行事予定

- ◎ 5月12日(土曜)11:30～15:30
広島・西宮・近江八幡クラブ70周年記念合同例会
¥10,000 ホテルヒューイット甲子園、
参加予定 杉本、舘、田辺、中村、野呂、藤井(ひ)
- ◎ 第21回西日本区大会 6月9日(土)、10日(日)
ANAクラウンプラザホテル神戸

< 神戸ポートクラブ創立30周年 記念例会 - 報告 >

会長 田辺征一

記念例会は、4月28日午後1時半、神戸YMCAチャペルで始まった。

神戸ポートクラブは神戸学園都市クラブのスポンサークラブであり、多くのワイズが参加した。

例会に先立ち、午前10時からCS事業の一環として、「きらりと輝くアート展」も開催され、多くの施設から



多彩な作品が出展された。我がクラブが支援する「ゆとり作業所」からも初参加していただいた。



記念例会の第一部は被災地復興支援のためのチャリティーコンサートで、カレッジアンコラージュによるトーンチャイム演奏で幕開け。神戸 YMCA 混声合唱団「くざぶえ」のしづい歌声を聴いた後はフルートとハーブのデュオによる演奏であった。フルート奏者の吉岡さんは大野CS主査の大学時代の同級生で今や世界で活躍されている。数々のフルートの名曲が演奏され、フルートを愛

する者にとっては幸せなひと時であった。

第二部の式典と懇親会は会場を近くのグリーンホテルに移して行われた。神戸ポートクラブの「30周年の歩み」をスライドで振り返り、同クラブの奉仕への取り組みに改めて敬意を覚えるとともに、人に仕える心を大切にしたいと思ったひと時であった。

当日の出席者は100余名の盛会であった。



< 今月の聖句 >

右の手のすることを左の手に知らせてはならない。

「見てもらおうとして、人の前で善行をしないように注意なさい。さもないと、あなたがたの天の父のもとで報いをいただけないことになる。だから、あなたは施しをするときには、偽善者たちが人からほめられようと会堂や街角でするように、自分の前でラッパを吹き鳴らしてはならない。はっきりあなたがたに言うておく。彼らはすでに報いを受けている。施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。あなたの施しを人目につかせないためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」

(マタイによる福音書6章1～4)

「人に見てもらおうとして人前で善行をしないように気をつけなさい」と言ったイエス。貧しい人への施しはユダヤの律法では「しなければいけない義務」。ところが、イエスの時代には、困っている人への同情心からではなく、名誉心から「施し」をする人々がいた。彼らは人にほめられたいがためにユダヤの会堂や表通りといった人目につく場所を選んで行っていた。これ見よがしの「ラッパを吹く」行為だ。イエスはそのような人々を「偽善者」（自分の名誉と誇りのために芝居をする者）と呼んで批判し、「右の手のすることを左の手に知らせてはならない」と言った。右手と左手のたとえば、「最も近くにいる者にも知らせるな」の意。人からほめられなくとも神はきちんと見ておられる。

～ 齋藤 孝 著 「声に出して読みたい新約聖書」草思社より ～